

法人インターネットバンキングシステム ファイル伝送取引における操作／機能の変更について

新システムへの移行に伴い、ファイル伝送取引における操作／機能の変更についてご案内いたします。

パソコンと電子証明書による親和性を向上させるために、従来必要であったパソコンへのJava JREのインストールが不要となりました。これに伴い、電子証明書環境でファイル伝送を実施する際に、ファイル伝送ボタンを押した後に表示される「ファイル伝送を開始します」画面が表示されなくなります。

また、ファイル伝送時の論理ディスクパスの指定タイミングが変更され、進捗状況インジケータが非表示となっております。

以下、ファイル伝送取引の外部ファイルのアップロードおよび外部ファイル受信を例に変更箇所を説明します。

[外部ファイルのアップロード]

選択	番号	名称名称	注釈(コメント)	最終送信日 / 送信者	指定日	送付件数	金額
<input type="radio"/>	1	送金挿入		--	--	--	--
<input type="radio"/>	2	送付挿入		--	--	--	--
<input type="radio"/>	3	裏金挿入		--	--	--	--
<input type="radio"/>	4	現金口座振替		--	--	--	--

①送信テーブルを選択し、アップロードを選択します。

②論理ディスクファイルパス名を選択し、**実行**をクリックします。
※機能変更前は「送信テーブル作成」時に論理ディスクファイルパス名を指定していました。

③「アップロード中」画面が表示されます
※機能変更前は「アップロード中」に進捗状況インジケータが表示され、アップロードの進捗状況が確認可能でした。
※ファイル伝送時もアップロード同様に、進捗状況インジケータが表示されなくなります。

[外部ファイルの受信]

①受信する外部ファイルの「選択」欄にチェックを入れ、**選択**をクリックします。

②外部ファイルの内容を確認します。

③必要に応じて、サイクル番号を入力します。

④受信する場合は、「利用者確認暗証番号」を入力し、**受信**をクリックします。

⑤「受信中」画面が表示されます

※機能変更前は「受信中」に進捗状況インジケータが表示され、外部ファイル受信の進捗状況が確認可能でした。

⑥内容を確認します。

⑦**ファイルの保存**をクリックし、受信結果を任意の論理ディスクパスを選択し、保存します。

※機能変更前は、「受信テーブル作成」時に、論理ディスクパス名を指定し、受信用のファイルを事前にパソコン上に準備していました。

⑧**確認**をクリックします。